

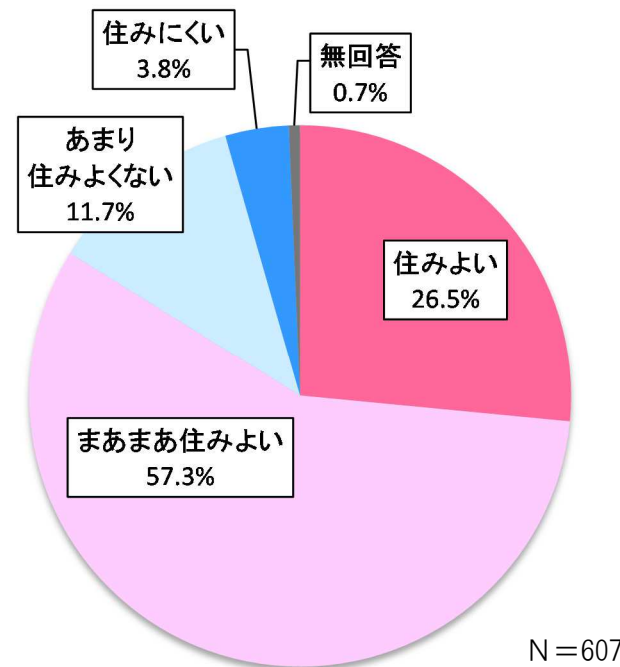
久万高原町 地方創生に関するアンケート結果【概要】

調査期間：平成27年6～7月

調査対象：無作為抽出

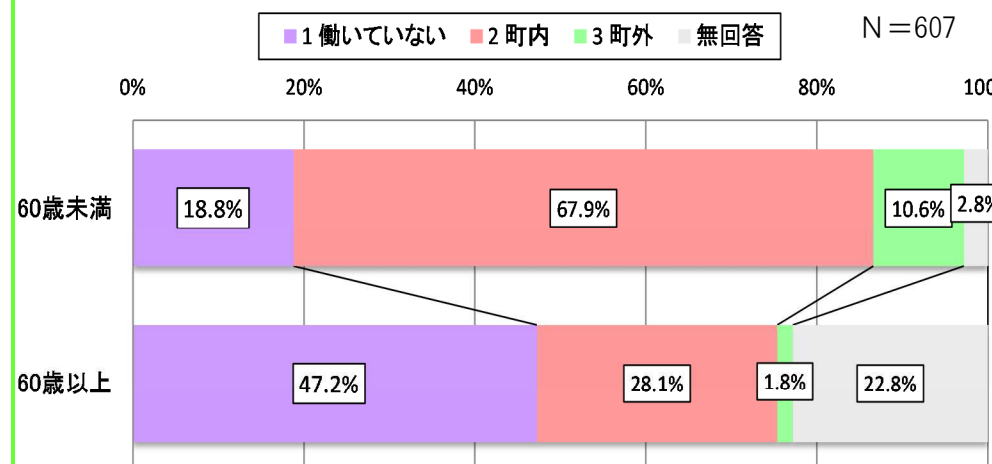
配布数：2,000票（回収率30.4%）

久万高原町を住みよいと感じている住民が約8割



就労している方は、主として町内で働いている

就労している場所を聞いたところ、多くの方は町内で働いていました。



生活環境への満足度が高く 公共交通への不満が大きい

久万高原町のすべての政策分野について、現状の満足度を聞いたところ、以下の結果でした。

N = 607

満足度の高い分野（上位5項目）

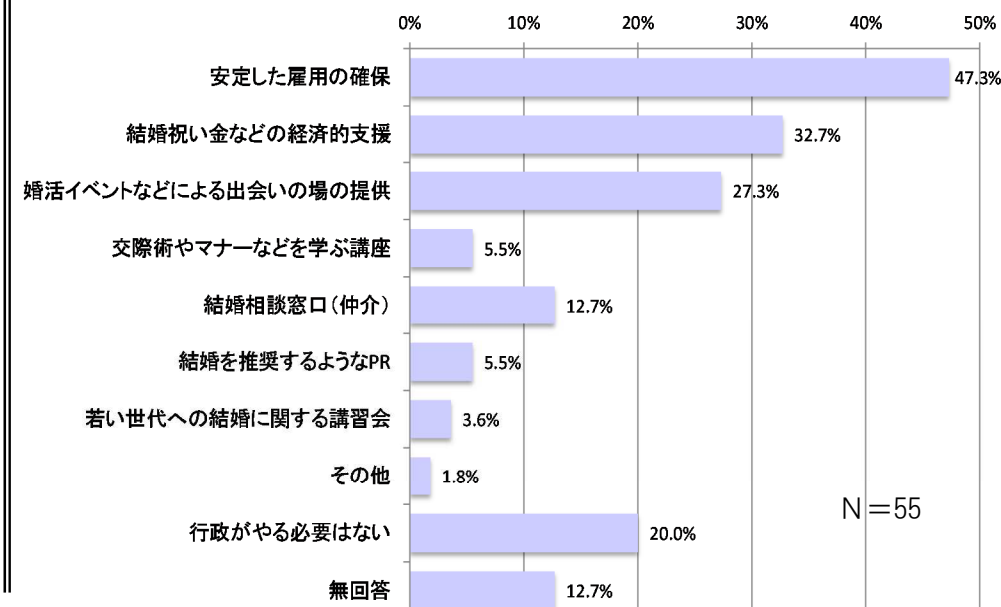
分野	満足度	不満度	無回答
上水道	83.9%	11.4%	4.8%
交通安全	82.5%	12.6%	4.8%
防犯	79.7%	14.3%	5.9%
防災・消防・救急	79.6%	16.1%	4.3%
健康づくり	76.2%	15.8%	7.9%

不満度の高い分野（上位5項目）

分野	満足度	不満度	無回答
公共交通	32.8%	62.4%	4.8%
農業振興	45.4%	40.7%	13.8%
林業	48.3%	38.9%	12.9%
低所得者支援	49.1%	38.0%	12.9%
行政運営	48.9%	36.8%	14.3%

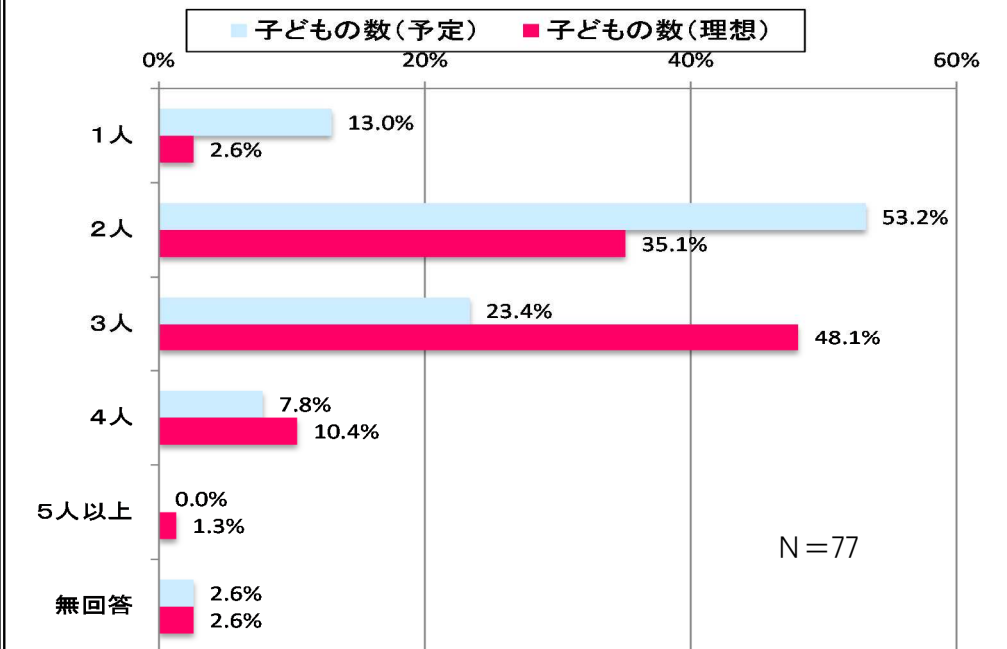
町へ望む結婚支援は、安定した雇用の確保

10～40歳代の独身の方へ、町に取り組んでほしい結婚支援を聞いたところ、直接的な結婚支援よりも、安定した雇用の確保を望む方が多いという結果になりました。



理想の子どもは2～3人だが、1～2人にとどまっている

10～40歳代の既婚の方へ、予定している子どもの数と、理想の子ども数を聞いたところ、理想と現実のギャップが見てとれる結果となっています。



理想の子どもを持つには、育児・教育費用負担が大きい

理想の子どもを持つ妨げになっていることを聞いたところ、育児・教育の費用負担を理由とする回答が圧倒的多数を占めました。

